

① 【赤グループ】

087 むらさめの つゆもまだひぬ まきのはに きりたちのぼる あきのゆふぐれ
018 すみのえの きしによるなみ よるさへや ゆめのかよひぢ ひとめよくらむ
057 めぐりあひて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし よはのつきかな
077 せをはやみ いはにせかるる たきがはの われてもすゑに あはむとぞおもふ
074 うかりける ひとをはつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらぬものを
065 うらみわび ほさぬそでだに あるものを こひにくちなむ なこそをしけれ
040 しのぶれど いろにいでにけり わがこひは ものやおもふと ひとのとふまで
037 しらつゆに かぜのふきしく あきののは つらぬきとめぬ たまぞちりける
017 ちはやぶる かみよもきかず たつたがは からくれなゐに みづくくるとは
023 つきみれば ちぢにものこそ かなしけれ わがみひとつの あきにはあらねど
013 つくばねの みねよりおつる みなのがは こひぞつもりて ふちとなりぬる
033 ひさかたの ひかりのどけき はるのひに しづころなく はなのちるらむ
100 ももしきや ふるきのきばの しのぶにも なほあまりある むかしなりけり
066 もろともに あはれとおもへ やまざくら はなよりほかに するひともなし
071 ゆふされば かどたのいなば おとづれて あしのまろやに あきかぜぞふく
046 ゆらのとを わたるふなびと かぢをたえ ゆくへもしらぬ こひのみちかな
035 ひとはいさ ころもしらず ふるさとは はなぞむかしの かににほひける
099 ひとをし ひともうらめし あぢきなく よをおもふゆゑに ものおもふみは
075 ちぎりおきし させもがつゆを いのちにて あはれことしの あきもいぬめり
042 ちぎりきな かたみにそでを しぼりつつ すゑのまつやま なみこさじとは

② 【青グループ】

061 いにしへの ならのみやこの やへざくら けふこのへに にほひぬるかな
097 こぬひとを まつほのうらの ゆふなぎに やくやもしほの みもこがれつつ
024 このたびは ぬさもとりあはず たむけやま もみぢのにしき かみのまにまに
090 みせばやな をじまのあまの そでだにも ぬれにぞぬれし いろはかほらず
014 みちのくの しのぶもぢずり たれゆゑに みだれそめにし われならなくに
094 みよしのの やまのあきかぜ さよふけて ふるさとさむく ころもうつなり
041 こひすてふ わがなはまだき たちにけり ひとしれずこそ おもひそめしか
010 これやこの ゆくもかへるも わかれては するもしらぬも あふさかのせき
073 たかさごの をのへのさくら さきにけり とやまのかすみ たたずもあらなむ
055 たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なほきこえけれ
004 たごのうらに うちいでてみれば しろたへの ふじのたかねに ゆきはふりつつ
016 たちわかれ いなばのやまの みねにおふる まつとしきかば いまかへりこむ
089 たまのをよ たえなばたえね ながらへば しのぶることの よわりもぞする

034 たれをかも しるひとにせむ たかきごの まつもむかしの ともならなくに
 021 いまこむと いひしばかりに ながつきの ありあけのつきを まちいでつるかな
 063 いまはただ おもひたえなむ とばかりを ひとつてならで いふよしもがな
 049 みかきもり 葱じのたくひの よるはもえて ひるはきえつつ ものをこそおもへ
 027 みかのはら わきてながるる いづみがは いつみきとてか こひしかるらむ
 029 ころろあてに をらばやをらむ はつしもの おきまどはせる しらぎくのはな
 068 ころろにも あらでうきよに ながらへば こひしかるべき よはのつきかな

③ 【黄グループ】

070 きびしさに やどをたちいでて ながむれば いつこもおなじ あきのゆふぐれ
 022 ふくからに あきのくさきの しをるれば むべやまかぜを あらしといふらむ
 081 ほととぎす なきつるかたを ながむれば ただありあけの つきぞのこれる
 005 おくやまに もみぢふみわけ なくしかの こゑきくときぞ あきはかなしき
 072 おとにきく たかしのはまの あだなみは かけじやそでの ぬれもこそすれ
 082 おもひわび さてもいのちは あるものを うきにたへぬは なみだなりけり
 026 をぐらやま みねのもみぢば ころろあらば いまひとたびの みゆきまたなむ
 091 きりぎりす なくやしもよの さむしろに ころもかたしき ひとりかもねむ
 020 わびぬれば いまはたおなじ なにはなる みをつくしても あはむとぞおもふ
 044 あふことの たえてしなくば なかなかに ひとをもみをも うらみざらまし
 060 おほえやま いくののみちの とほければ まだふみもみず あまのはしだて
 095 おほけなく うきよのたみに おほふかな わがたつそまに すみぞめのそで
 008 わがいほは みやこのたつみ しかぞすむ よをうちやまと ひとはいふなり
 092 わがそでは しほひにみえぬ おきのいしの ひとこそしらね かわくまもなし
 038 わすらるる みをばおもはず ちかひてし ひとのいのちの をしくもあるかな
 054 わすれじの ゆくすゑまでは かたければ けふをかぎりの いのちともがな
 015 きみがため はるののにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはふりつつ
 050 きみがため をしからざりし いのちさへ ながくもがなと おもひけるかな
 076 わたのはら こぎいでてみれば ひさかたの くもゑにまがふ おきつしらなみ
 011 わたのはら やそしまかけて こぎいでぬと ひとにはつけよ あまのつりぶね

④ 【紫グループ】

051 かくとだに えやはいぶきの さしもぐさ さしもしらじな もゆるおもひを
 006 かささぎの わたせるはしに おくしもの しろきをみれば よぞふけにける
 036 なつのよは まだよひながら あけぬるを くものいづこに つきやどるらむ
 059 やすらはで ねなましものを さよふけて かたぶくまでの つきをみしかな
 047 やへむぐら しげれるやどの きびしきに ひとこそみえね あきはきにけり

085 よもすから ものおもふころは あげやらで ねやのひまさへ つれなかりけり
 062 よをこめて とりのそらねは はかるとも よにあふさかの せきはゆるさじ
 098 かぜそよぐ ならのをがはの ゆふぐれは みそぎぞなつの しるしなりける
 048 かぜをいたみ いはうつなみの おのれのみ くだけてものを おもふころかな
 080 ながから こころもしらず くろかみの みだれてけさは ものをこそおもへ
 084 ながらへば またこのごろや しのばれむ うしとみしよぞ いまはこひしき
 053 なげきつつ ひとりぬるよの あくるまは いかにひさしき ものとかはしる
 086 なげけとて つきやはものを おもはする かこちがほなる わがなみだかな
 025 なにしおはば あふさかやまの さねかづら ひとにしられで くるよしもがな
 032 やまがはに かぜのかけたる しがらみは ながれもあへぬ もみぢなりけり
 028 やまざとは ふゆぞさびしき まさりける ひとめもくさも かれぬとおもへば
 088 なにはえの あしのかりねの ひとよゆゑ みをつくしてや こひわたるべき
 019 なにはがた みじかきあしの ふしのまも あはでこのよを すぐしてよとや
 093 よのなかは つねにもがもな なぎさこぐ あまのをぶねの つなでかなしも
 083 よのなかよ みちこそなけれ おもひいる やまのおくにも しかぞなくなる

⑤ 【緑グループ】

052 あけぬれば くるるものとは しりながら なほうらめしき あさぼらけかな
 003 あしびきの やまどりののを しだりをの ながながしよを ひとりかもねむ
 043 あひみての のちのところに くらぶれば むかしはものを おもはざりけり
 079 あきかぜに たなびくくもの たえまより もれいつるつきの かげのさやけさ
 001 あきのたの かりほのいほの とまをあらみ わがころもでは つゆにぬれつつ
 039 あさぢふの をののしのはら しのぶれど あまりてなどか ひとのこひしき
 078 あはぢしま かよふちどりの なくこゑに いくよれざめぬ すまのせきもり
 045 あはれとも いふべきひとは おもほえで みのいたづらに なりぬべきかな
 012 あまつかぜ くものかよひぢ ふきとぢよ をとめのすがた しばしとどめむ
 007 あまのはら ふりさけみれば かすがなる みかさのやまに いでしつきかも
 056 あらざらむ このよのほかの おもひでに いまひとたびの あふこともがな
 069 あらしふく みむろのやまの もみぢばは たつたのかはの にしきなりけり
 030 ありあけの つれなくみえし わかれより あかつきばかり うきものはなし
 058 ありまやま みなさきはら かぜふけば いでそよひとを わすれやはする
 096 はなさそふ あらしのにはの ゆきならで ふりゆくものは わがみなりけり
 009 はなのいろは うつりにけりな いたづらにわがみよにふる ながめせしまに
 002 はるすぎて なつきにけらし しろたへの ころもほすてふ あまのかぐやま
 067 はるのよの ゆめばかりなる たまくらに かひなくたたむ なこそをしけれ
 031 あさぼらけ ありあけのつきと みるまでに よしののさとに ふれるしらゆき

064 あさぼらけ うちのかはぎり たえだえに あらはれわたる せぜのあじろぎ